

意見交換会 参加者一覧

コミュニティの形成

No.	氏名	所属等	活動内容等	役割
1	 遠山 賢一郎 (とおやま けんいちろう)	認定NPO法人ふくしまNPOネットワークセンター	福島市出身。大学進学に伴い上京し、卒業後は一般企業に就職。主に営業部門に携わる。 震災後、2013年4月にUターンし、一般社団法人ふくしま連携復興センターに所属。2017年4月より事務局長、同年9月より理事に就任。2020年3月をもってふくしま連携復興センターを退職し同時に理事退任。 現在は、ふくしまNPOネットワークセンターが受託する「ふくしま地域活動団体サポートセンター」に所属し、主にNPOと企業の協働促進事業に携わっている。	ファシリテーター
2	 吉田 恵美子 (よしだ えみこ)	特定非営利活動法人 ザ・ピープル 理事長	福島県いわき市出身。大学卒業後、中学校教諭を経ていわきに戻り専業主婦となる。1990年仲間たちと任意団体ザ・ピープルを設立。2004年NPO法人格取得に伴い理事長就任。循環型社会づくり・障がい者福祉・海外教育支援等様々な活動を通して住民主体のまちづくりに取り組む中で、東日本大震災に遭遇。津波被災エリアに事務所を構えていたことから4月中旬から小名浜地区災害ボラセンのスタートを皮切りに、被災者・避難者支援活動を実施。特に地域コミュニティの抱えてしまった課題に取り組む。「ふくしまオーガニックコットンプロジェクト」を進める。	ミニプレゼン登壇者 &意見交換参加者
3	 中鉢 博之 (ちゅうばち ひろゆき)	NPO法人ビーンズふくしま 常務理事 事務局長	宮城県仙台市出身。福島大学在学中、福島にフリースクールを創る会に参画。平成11年福島市に市民設立型のフリースクールビーンズふくしまを開校。同専任スタッフを経て、ひきこもり・ニート支援の取り組みなども開始。福島市・郡山市で地域若者サポートステーション事業を受託等事業を牽引。震災後は仮設住宅での子ども支援「うつくしまふくしま子ども未来応援プロジェクト」の立ち上げや「東日本大震災中央子ども支援センター福島窓口」の実施、「みんなの家@ふくしま」の開始など子ども支援の視点と経験を活かした復興活動に従事。	ミニプレゼン登壇者 &意見交換参加者
4	 廣畑 裕子 (ひろはた ゆうこ)	小高工房 代表	福島県南相馬市出身。モットーは「今を大切に こころに寄り添う日々」 震災後 避難指示のため、南相馬市小高区から同市鹿島区の仮設住宅に避難 2013年4月 仮設住宅の敷地で「のらとも農園」を造り、花栽培⇒出荷 2015年9月 小高区で「コミュニティスペースおだかぷらっとほーむ」運営を開始 2017年 小高工房「とうがらしプロジェクト」立ち上げ	意見交換参加者
5	 横山 秀人 (よこやま ひでと)	いいたてネットワーク 代表	福島県飯舘村出身。21年間勤めた飯舘村役場を平成26年3月に退職し行政書士事務所を開業。飯舘村で農業法人の設立支援等を行っている。 平成27年7月に「いいたてネットワーク」を設立し、村民からの意見・提案等をまとめた報告書を、飯舘村役場・村議会へ計6回提出。平成29年8月から、福島県心の復興事業にて、村民交流事業「生活に彩りと癒しプロジェクト」を実施。令和2年度から、いいたてInstagramフォトコンテスト、インターネット交流の場づくり事業への取り組みや、飯舘村で開催される他団体の交流WSに参加し、新しいコミュニティの可能性を探る。	意見交換参加者
6	 佐藤 めぐみ (さとう めぐみ)	社会福祉法人 福島市社会福祉協議会 総務課地域福祉係長	福島県福島市出身。保健師として入職し高齢者福祉部署に配属。本会では東日本大震災後の平成24年4月より避難者支援を実施。避難者同士の交流や情報交換などを目的に訪問活動やサロンなどを開催。配属部署では避難者に対し健康づくり教室の参加を促した。避難者の状況変化とともに、精神的支援の重要性が明らかになってきた平成26年度に避難者支援部署に異動。その後、避難者が自立し居住地に馴染むための支援を目指して現在の活動を実施している。	意見交換参加者